

## 伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。

### 1 1月18日の調査結果

11月18日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で17.8～20.1℃、10mで18.3～20.4℃、底層で18.7～21.8℃の範囲にあり、表層、10mでは平年並み、底層でやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で6.6～8.0 mg/L、10mで6.3～7.4mg/L、底層で2.9～7.2 mg/Lの範囲にあり、表層、10m及び底層は平年並となっていました。

6月の観測時（6月8日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅していました。

伊勢湾では、海水の上下混合がおりやすい時期を迎えており、今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図